



☆ みちした



ホームページ URL <http://www.michishita-e.tym.ed.jp>



子供たちからのプレゼント「感動」

校長 原 一 美

2学期も、『やさしく、かしく、元気な子』に多くの「感動する瞬間」を作ってもらいました。

- 運動会、赤も白も心をつにして、毎日朝は応援練習。一生懸命に応援歌や振り付けを教える上級生、一生懸命に覚えようとがんばる下級生、なんとも感動的な練習風景。
- しんきろうロードマラソンで、自分なりの目標に向かって苦しい練習を重ねて完走し、さわやかな表情の子供たち。
- 心をつにして演奏したり歌ったりした秋の子集会。音楽のよさを実感。道下の素晴らしい伝統。
- 全校集会で、委員会やクラブ活動の発表を見て、心からの拍手とそのよさを見付けて伝え合い。
- 委員会の仕事。目立たないところでしっかり働く5、6年生。
- 花鉢配り、あんどの里訪問、周りの人々の気持ちも温めた4年生。

地域の方からこんな話も聞きました。

- ・車で通りかかり、横断しようとする子供がいたので止まって見守っていたら、渡り終えたところで振り向いて笑顔で会釈され、とても気持ちがよかった。
- ・休日、家の前を通りかかった高学年の男の子が元気に挨拶をしてくれて、気持ちがよかった。
- ・出勤途中、集団登校の子供たちと会うが、「おはようございます」と子供たちの方から声をかけられる。
- ・低学年の集団下校のときのこと。4月から一緒に登下校してきた友達が転校することになったらしく、今日が最後の集団下校だったようだ。その友達の荷物を持ってあげる、声をかけるなど別れを惜しみ、本人も友達もただただ涙ぐんでいた。子供たちのやさしい心と深いつながりに感動した。

職員室での話題です。

- ・中学年の女の子が道路を横断する際に、自転車から降りてしっかりと左右を確認していた。通りかかった車が止まってきて、自転車を押して渡り終えた女の子は車の方に会釈していた。見ていて気持ちがよかった。車の方も喜んでくださったのでは・・・。
- ・登校の時、通学路沿いの家の方に「おはようございます」と挨拶をしている子供たちがいた。
- ・集団登校中に急な雨。下学年の友達をぬれないようにと自分の傘に入れてゆっくり歩く高学年のやさしさに感心した。
- ・公民館での行事では、いつも高学年が進んでお手伝いをしている。

「一隅を照らす」という言葉がありますが、目立たないところで働く姿、目標に向かって努力する姿、人助けをする姿、自分のためではなく周りの人のためになることをする姿を見ると、胸を打たれます。大人であっても見習わなければという気持ちにさせられます。多くの道下っ子から2学期も心温まる思い出をプレゼントしてもらいました。

保護者の皆様、2学期も学校教育にご理解とご協力、ありがとうございました。

毎日の旗当番、様々行事へのご支援に深く感謝しています。また、月初めにはご多用の中個別懇談会に来てくださってありがとうございました。

いよいよ子供たちが楽しみにしている冬休みです。2学期の成長を共に喜び、家族のふれあいを深め、よい年をお迎えください。

2学期後半の子供たちの活動から

冬休みに向けて 地区児童会

2学期の集団登下校の振り返りと、安全で楽しい冬休みを過ごすためにはどうしたらよいかについて話し合いました。冬休み中は、保護者の皆様の声がけと見守りもよろしく願いいたします。

新年に向けて 書き初めの練習

それぞれの学年のお手本をよく見て練習しています。冬休み中も、たくさん練習してほしいと思っています。



英語に親しむ活動も楽しんでいます。



2学期の土曜学習—公民館での学習—から

道下公民館の子どもサークル活動で子供たちが地域の方からいろいろなことを教わっています。指導者のみなさん、2学期もありがとうございました。

三味線・将棋・お茶・創作・スポーツ・クッキング・バドミントン
道下子どもサークルは青少年育成県民会議会長表彰を受けられました。



12月にはクリスマスケーキづくりと餅つき会がありました。

多くの子供たちが参加し、地域の方との交流を深めると共にケーキ作りや餅つき体験をしました。